

まちづから

平成30年(2018年)8月発行 第3号
 編集・発行
 茅ヶ崎市まちづから協議会連絡会
 〒253-8686
 茅ヶ崎市茅ヶ崎1-1-1(茅ヶ崎市役所内)
 電話:0467-84-9781
 F A X:0467-84-9782
 E-mail:chigasaki-machiren@aioros.ocn.ne.jp
 http://chigasaki-machiren.org

絆をはぐくみ互いに支え合うまちづくりのために

茅ヶ崎市まちづから協議会連絡会

会長 後藤金蔵

茅ヶ崎市まちづから協議会連絡会は二年目を迎えました。当連絡会は、各地区まちづから協議会等の活動の連絡調整、地域の助け合い、支え合いのために活動している地区まちづから協議会等の活動を支援するために、一昨年五月に設立いたしました。地区で活動するまちづから協議会は、自治会を基盤として、各種団体や地域住民の方々による新たなコミュニティとして設立された組織で、少子高齢化や核家族化の進展で、地域の絆が希薄化し、地域づくりに支障が出ることを防ぎ、地域の防災・防犯活動、環境美化活動、子どもや高齢者・子育て世代などへの支えあい活動、そして地域のだれもが触れ合える親睦活動など、多くの公益を増進するための事業を行い、住みよい地域社会を目指すことを目的に活動を行っています。

市でのまちづから協議会に関する条例を制定し、



まちづから協議会の本格稼働と市政運営に向けて

地域の皆様におかれましては、口頭よりそれぞれの地域におきまして、各自治会の活動、福祉や子ども育成などの個別のテーマに特化した各種団体での取り組み、まちづから協議会での事業の取り組みなど、様々な活動を進めていただき、厚くお礼申し上げます。

二〇一六年四月に施行した「茅ヶ崎市地域コミュニティの認定等に関する条例」に基づく認定コミュニティとして、現在、市内の十二地区のうち十一地区において、まちづから協議会が本格稼働し、地区内の情報を共有し、課題解決に向けた取り組みを進めていただいております。また、協議会が設立されていない地区についても、地域の中で協議会組織の在り方について、議論を重ねていただいているところです。

二〇一八年度は、今後訪れる人口減少や進行する少子高齢化といったまちの大きな変化への対応を、重点的に進めていく大切な時期です。今年度予定している主要な事業のうち、特に皆様の暮らしづくりに直結する事業として、「家庭ごみ有料化導入の検討業務」があげられます。この事業は、さらなるごみ減

この取り組みに対する支援を行っています。この条例では、地域性を最大限尊重し、地域において問題解決を図ったり、地域振興を図る取り組みに対して支援することをうたっております。すでに多くの地区でこの制度を活用した取り組みが行われております。

地域のことを一番知っているのは、そこに住んでいる住民の皆様です。地域の方々が互いに顔の見える関係を作り、協力し、支え合って、より良いまちづくりをしていくために、地区まちづから協議会に対し、積極的にかかわっていただければと思います。

茅ヶ崎市の明るい未来のために、当連絡会といたしましても各地域が連携し、地域の絆をはぐくみ、互いに支え合うまちづくりのために努めてまいりますので、一層のご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

茅ヶ崎市長 服部 信明

量の推進、ごみ処理施設整備にかかる経費の財源確保などのため、家庭ごみ処理の有料化導入の検討について、地域の皆様と意見交換を重ね、いただいたご意見を集約するとともに、先行自治体の事例を研究して、施策の方向性を検討するものです。

これらの事業実施にあたり、市政運営の総合的な指針である現行の総合計画が残り三年となり、限られた予算のなかで、特に緊急度の高い事業を優先しながら、計画に位置付けた目標を達成すべく、既存事業を着実に推進いたします。

さらに、二〇二二年度を初年度とする次期総合計画の策定に向け、本格的に着手いたしますので、地域の皆様のご意見をいただきながら、次世代につながるような計画の検討を進めます。

地域と行政が一緒に考えながら、あらゆる世代が自分らしい生活を送ることができるよう、将来にわたり持続可能な市政の発展に向けた取り組みを推進してまいりますので、引き続き、まちづから協議会をはじめ地域の皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

各地区で取り組みが進んでいます



活動紹介

海岸地区まちづから協議会

住んで良かったまちづくり

海岸地区まちづから協議会は十二自治会、地区社協、学区推進協、地区体育振興会、民児協、海岸コミセン、海岸ボラセン、地域包括支援センターなど二十団体を構成団体として、平成二十八年二月に設立されました。発足三年目の活動としては、市民集会、地域防災訓練、高砂緑地での「梅まつり」などの行事を充実させるとともに、広報紙の発行、感震ブレイカーの普及など、地域の実状に即した活動を昨年に引き続き展開してまいります。



東海岸小学校体育館での防災訓練

10月6日(土)	市民集会	福祉会館
10月7日(日)	地区体育祭	東海岸小学校
10月27日(土)	地区防災訓練	東海岸小学校
11月18日(日)	ふれあいの集い	福祉会館
2月11日(月)	梅まつり	高砂緑地

開催が中断している「海岸地区盆踊り」を来年度には復活できるように、早急に検討・準備を進めてまいります。

また、地域活動の重要な拠点であった福祉会館が十二月で閉館し茅ヶ崎公園園体験学習センターが一月に開館するなど、当地区を取り囲む環境も変わります。従来にも増して活発な地域活動を展開してまいりますので皆様の協力をお願いいたします。

平成30年度茅ヶ崎市まちづから協議会連絡会事業計画

【地区まちづから協議会相互の親睦と連携】

- (1) 総会及び定例会・役員会(毎月、ただし4月は除く)の開催
- (2) 研修会等の開催
- (3) 退任委員への表彰状の贈呈

【地域振興の研究】

- (1) 地域課題への支援
- (2) 先進都市視察
- (3) 近隣市町との交流

【地域活動の情報交換】

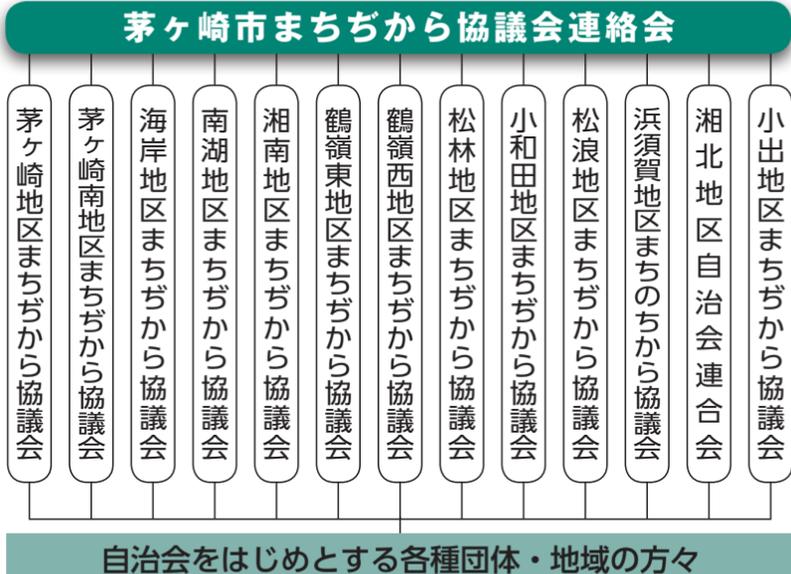
- (1) 地域で取り組む事業活動の報告
- (2) 広報「まちづから」の発行
- (3) ホームページの運営

【行政への協力】

- (1) 各種審議会及び委員会への委員の推薦
- (2) 行政等からの依頼事項の周知

組織図

(平成30年8月1日現在)



活動紹介

松林地区まちぢから協議会



会議のようす



バイパス下の公園予定地

10月7日(日)	地区大運動会 (松林・小和田地区合同)	松林小学校
10月28日(日)	地区防災訓練	室田小学校
11月4日(日)	地区福祉バザー	松林公民館
12月2日(日)	餅つき大会	松林公民館

「バイパス高架下の公園化を目指して!!」
 昨年の第二号「まちぢから」では、主に子ども部会の活動を紹介させていただきました。
 子ども部会・他に防災部会・福祉部会・広報部会・環境部会があり、それぞれの活動テーマにそった協議や事業を行っています。また、部会の枠にとらわれな活動として「松林いきいきのび

のびランドの創設」に取り組んでいます。松林地区内にある新南バイパス高架下を公園として整備し、子どもたちが思う存分ボール遊び等ができるようにする取り組みです。
 実現には、土地の所有者である国土交通省をはじめとする関係部局との調整が必要で、課題は山積みですが、何とか実現できるように地域の力を結集して取り組んでまいります。

小和田地区まちぢから協議会



夕暮れの街で看板設置の確認



夜間に光る案内看板

9月1日(土)	市長と語る会(市民集会)	小和田コミセン
10月7日(日)	地区大運動会 (松林・小和田地区合同)	松林小学校
10月14日(日)	地区防災訓練	小和田小学校
11月4日(日)	小和田コミセン祭り	小和田コミセン

「蓄光式案内看板の設置」
 小和田地区まちぢから協議会では、交通安全部会が中心となり地区内外の「まち歩き」を行い交通安全に関わる課題の収集検討に取り組んでいます。
 昨年の六月に実施した「広域避難場所」である湘南カントリークラブまでの避難経路の「まち歩き」では、参加者から「ゴルフ場周辺の道筋が複雑で、夜間だと道に迷い目的の地まで辿り着けない」との感想が報告されています。「広域避難場所」は、大規模延焼火災から住民の命を守る等とも言えるもの、その皆が目の前にあっても容易にたどりつけないと

「広域避難場所」は、大規模延焼火災から住民の命を守る等とも言えるもの、その皆が目の前にあっても容易にたどりつけないと
 言う現状に鑑み、交通安全部会では、「夜間でも発光する蓄光式看板を湘南カントリークラブまでの計五か所に設置する」ことを決定し、本年五月二十一日設置工事を完了しました。
 五月二十二日の晩、夕闇の中に乳白色の光を発する看板を前にして、いざという時避難誘導に大いに役立つことを期待しつつ、工事完了の確認をして回りました。
 交通安全部会
 は、今後も現認主義で課題の収集、検討に努めて参りますので、変わらぬご支援、ご協力をお願い致します。

広域避難場所への架け橋となれ!!

蓄光式案内看板の設置

浜須賀地区まちぢから協議会



ふれあい昼食会



ふれあい昼食会(準備のようす)

9月8日(土)	敬老のつどい	浜須賀会館
10月7日(日)	体育祭	浜須賀小学校
10月20日(土)	会館祭り	浜須賀会館
11月10日(土)	地区防災訓練	浜須賀小学校・中学校・緑が浜小学校
1月12日(土)	賀詞交歓会	浜須賀会館

昭和五十九年四月に浜須賀会館は市内で第一号のコミセンとして設立、地域住民の強い要望により昭和六十三年に調理室が増設されました。
 平成元年に地区社協はボランティアを募集して、献立づくり等の研修を行い、六十五才以上の独居老人を対象に食事会を初め現在に至っています。開催当初は老

人憩いの家で食事ができることは画期的なものでしたが、その後年々参加者が増え、現在は七十七才以上の高齢者を、浜須賀地区の十二自治会を四つのブロックに分け、年一回ずつ計八回行っています。スタッフも含めると、延べ人数は約六百名の大台となり、しかも今年で三十年目になりました。また地区社協以外でも地域の活動に調理室を使用して地域の人々に大変喜ばれています。

ふれあい昼食会

松浪地区まちぢから協議会



木更津市環境部との話し合い



かずさクリーンシステム説明

8月11日(土)	盆踊り大会	松浪小学校
9月8日(土)	市民集会	松浪コミセン
9月16日(日)	地区防災訓練	松浪小、中学校
10月7日(日)	地区体育祭	松浪小学校
10月14日(日)	福祉ふれあいまつり	松浪小学校
2月	ふれあいネットワーク交流会	松浪コミセン

*松浪朝市 毎月第1・3日曜日8時~9時 場所:松浪コミセン駐車場

「ゴミ問題で先進都市視察」
 昨年、茅ヶ崎市の資源循環課から提案がありました。松浪地区では十一月の市民集会でこの問題を取り上げ、分科会で議論しました。それを受け、まちぢから協議会の先進都市視察では平成十六年よりごみ袋の有料化を実施している、千葉県木更津市を訪問しました。
 木更津、君津、富津、袖ヶ浦の四市(合計人口三十三万人)及び民間企業と共同で君津地域を訪問しました。

広域廃棄物処理施設「かずさクリーンシステム」という第三セクターの会社を立ち上げて可燃ゴミの熔融処理を行っています。
 木更津市の環境部まち美化推進課との間で有益な話し合いを行うことが出来ました。
 例えばゴミ袋を有料化したことで、ゴミの量は前年比十二%約五千ト減少した。
 木更津市では市の面積が広く収集効率が悪いのでゴミの戸別収集は行っていないなど。

ゴミ問題で先進都市視察

湘北地区自治会連合会

「サロン」みんなの居場所」
 鶴が台団地名店街



来場者は毎回50名を超えます

11月18日(日)	市民集会	香川公民館講義室
11月25日(日)	防災訓練	鶴が台中学校 鶴が台スポーツ公園

名称	開催日時	場所
コミュニティサロン	毎月第1金曜日13:30~15:00	ボランティアセンター
香川ふれあいサロン	毎月第2金曜日10:00~14:00	香川自治会館
甘沼ふれあいの会	毎月第2月曜日10:00~14:00	甘沼自治会館
ほっとサロン	毎月第2、4水曜日13:00~15:00	松風台自治会館
カフェみぎさき	毎月第4木曜日14:00~16:00	みぎさきコミュニティハウス
Eラウンジシニアサロン	週5回月火水金土10:00~15:00	鶴が台団地第1集会所
水曜サロン(ひまわりの会)	毎週水曜日10:00~14:00	鶴が台小学校多目的室

今回は湘北地区で行われているサロン活動のうち、鶴が台団地名店街で行われている「みんなの居場所」を紹介いたします。
 毎月一回第三金曜日に夕方、五時より大人二百円、中学生二百円、小学生百円を参加費としてカレライスを提供しています。
 店内は高齢者、親子連れ、中学生など、みんなでわいわい食

サロン「みんなの居場所」 鶴が台団地名店街

小出地区まちぢから協議会



式典のようす

7月22日(日)	小出コミセンまつり	小出コミセン
8月4日(土)	一夜限りのピヤガーデン	小出コミセン
9月23日(日)	小出地区市民集会	小出コミセン
10月7日(日)	小出地区体育祭	小出小学校
10月20日(土)	子ども大会	小出小学校
11月11日(日)	レインボーフェスティバル	里山公園
11月(未定)	サンまつり	小出コミセン駐車場
12月2日(日)	小出地区防災訓練	小出小学校
2月10日(日)	小出地区住民の集い	小出コミセン

「七堂伽藍跡碑建碑」
 六十周年記念式典
 昨年活動の成果を目に見える形で成し遂げることができました。
 (1)「小出子どもの街宣言」パンフレットが完成
 日頃の見守り活動などに対して、子どもたちから地域の大人たちに、感謝の想いの感想文を頂きました。

(2)「お役立ち小出地区マップ」が完成
 今年はマップを活用した「史跡・自然探訪など」を計画して、未病を改善して、医療費の削減運動を展開します。
 (3)「七曲り県道」歩道の一部70mが完成
 (4)「七堂伽藍跡碑建碑六十周年記念式典」を実施しました。
 今後は長期間に亘り保存・活用が重要課題となります。下寺尾遺跡部会と連携して保存活動してまいります。

高齢運転者による死亡事故が急増!!

交通事故を起こした場合、
刑事責任や
損害賠償などの
様々な責任が
生じるおそれ
があります。



思い当たったら要注意!

- ・車のキーが見当たらない
- ・ウインカーを間違えて出す
- ・うまく駐車できない
- ・壁などで車をこすってしまった
- ・道順を思い出せない など



運転免許証
自主返納

家族で話し合ってみませんか?

65歳以上の高齢者が「第1当事者（事故の当事者のうち過失が重い人）」になる割合が高まっています。運転免許証がなくなると不便にはなりますが、悲惨な交通事故を起こさないためにも、家族で一度話し合ってみましょう。

運転する意思がなく、運転免許証を返納したいという方のために、自主的に運転免許証の取り消し申請することができる「運転免許証の自主返納制度」があります。

希望者は運転免許証と同じ大きさで、金融機関等において本人確認書類として有効なものとして定められている「運転経歴証明書」（有料）の交付を受けることができます。



自家用車の**維持費**は、自動車税や保険料、ガソリン代など、多いときは**年間約30万円**以上かかります。これは、タクシーの**初乗り運賃**（2kmまで730円）で計算すると、ご近所の買い物などに**週4回**ほど往復できます。

30万円で年間400回以上もタクシーに乗れます!

カード詐欺が増えていきます

「あなたの個人情報が出ています」、「カードが悪用されてるから新しくした方がよい」などと言いき、カードを受け取りに来る手口が増えていきます。



茅ヶ崎市の被害状況

約**5,700万円**
被害金額
被害件数
県内ワースト
1位
37件
平成30年
1~4月 ※政令市除く

不審な電話は、すぐに警察へ相談しましょう。

サギ撲滅の2本柱

- 1 こんな言葉を電話で聞いたらサギだ!**
「急にお金が必要!用意して!」
「キャッシュカードを預かります。」
「ATMで医療費を還付します。」
- 2 留守番電話設定のお願い!**
「犯人は留守番電話を嫌います。」
「常に留守番電話設定を!」
「留守番電話が作動する前に取らないで!」
「迷惑電話防止機能付き機器の購入検討を!」

要注意

編集後記

高齢者が多くなると、社会的な様相も変わってきます。振り込め詐欺、高齢者が係る交通事故の多発もその顕著な例でしょう。本号では、より一層の注意喚起を目的として、前記一点について茅ヶ崎警察署の協力を得て特集記事を掲載しました。

少しでも、被害、加害の件数が減らすことを期待します。まちぢから協議会連絡会が発足してから二年が経過し、各地区の活動紹介を見ても、蓄光式案内看板の設置をはじめ「まちぢから」ならではの活動が紹介されるようになってきました。茅ヶ崎のイメージを超えるまちづくりに少しでも近づきたいものです。(M・M)

平成30年度まちぢから協議会連絡会委員



- | | | | | | | | | |
|-------------|---------------------|---------------------|----------------------|---------------------|---------------------|-----------------------|--------------|-------------|
| 鶴嶺東
岩壁 榮 | 湘南
高梨 勇 | 南湖
林 申次 | 南湖
三嵩 健一 | 海岸
真野 宗直 | 海岸
林 正明 | 茅ヶ崎南
篠原 徳守 | 茅ヶ崎
河内 昇 | 茅ヶ崎
関野 保 |
| 浜須賀
古谷 宏 | 浜須賀
青木 三郎 | 松浪
前田 積 | 小和田
中田 一夫 | 小和田
新倉 昭人 | 松林
滝本 誠 | 鶴嶺西
小島 正徳 | 鶴嶺東
熊澤 繁雄 | |
| 小出
永澤 鐵男 | 鶴嶺西
弓達 茂
(監事) | 小出
矢野 福德
(監事) | 松浪
植松 伸擴
(副会長) | 湘南
後藤 金蔵
(会長) | 松林
細田 勲
(副会長) | 茅ヶ崎南
和田 高伸
(会計) | 湘北
茂木 信男 | 湘北
永野 盛芳 |